

事業シート(令和3年度決算)

31_建設課_1

事業名	71100 道路河川等整備推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・東海北陸自動車道の全線4車線化、中部縦貫自動車道の早期全線開通に向けて、引き続き関係機関に要請していきます。また、市内の生活道路整備を始めとした誰もが便利に暮らせるまちづくりに取り組みます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	1	土木管理費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画		
			目	1	土木管理費						
担当課	建設部 建設課	内線	2321								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 国、県の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。 	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施
----	---	----	---

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,390	3,164	3,240	3,240	2,604	△ 560
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,390	3,164	3,240	3,240	2,604	△ 560
個票枝番	主な事業内容						
	各種同盟会への負担金	3,050	2,992	2,900	2,900	2,474	△ 518

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額	3,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,654	3,647	3,647	407
3,654	3,647	3,647	407
査定額	説明		
3,357			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ12回(6月～11月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 7月豪雨における災害復旧事業の促進に向け、国、県、JR東海等へ緊急要望書を提出し、事業促進を提言した。 中部縦貫自動車道事業を強力に促進するため、行政と経済団体が連携して国へ要望活動を実施した。 市道整備に伴う予算確保のため国へ要望活動を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うと共に、同盟会負担金の低減を図った。 7月豪雨で被災した国道41号、国道471号及び国道158号の応急復旧が迅速に実施された。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ13回(7月～11月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 361号中之宿工区道路改良事業の完成に伴い、国道361号改修促進期成同盟会協賛で、事業者並びに施工者に対し感謝する式典「感謝のつどい」を実施。 国道41号門坂災害復旧工事の完成に伴い、飛騨地域基盤整備促進期成同盟会主催で、事業者並びに施工者に対し感謝する式典「感謝のつどい」を実施。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うと共に、同盟会負担金の低減を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。

担当課 予算要求 ポイント	国等の道路及び河川等の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 精算内容を精査 全国治水期成同盟会について、事業課とのヒアリングにより脱会することとし、負担金を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

31_建設課_1

71100

事業シート(令和3年度決算)

31_建設課_2

事業名	72300	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。	
	～		72370	款	7		土木費	まちづくり戦略	(2)			利便性の高い都市機能とネットワークの構築
	担当課		建設部 建設課	内線	2328		根拠計画	橋りよう長寿命化修繕計画、過疎地域持続的発展計画				
				項	2		道路橋りよう費					
			目	3	道路新設改良費							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。	概要	・道路の新設、拡幅改良、歩道設置 ・橋りよりの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 ・道路用地の取得
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
耐震、長寿命化対策実施橋りよう数(累計)	113橋	117橋	150橋
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	67.2%	71.6%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		461,153	408,047	492,590	535,590	169,098	△ 238,949
特定財源	国費(道路整備事業費 5.5/10、5/10)	163,700	144,000	251,895	260,395	61,771	△ 82,229
	県費						
	その他(地方債、公共施設整備基金繰入金等)	134,000	184,575	201,000	201,000	48,400	△ 136,175
一般財源		163,453	79,472	39,695	74,195	58,927	△ 20,545
個票枝番	主な事業内容						
	道路改良・道路舗装・側溝改良	106,500	92,802	62,600	69,801	41,799	△ 51,003
	橋りよう長寿命化改良	214,000	204,979	115,500	111,500	90,371	△ 114,608
	旅行村線	37,820	8,228	313,000	352,799	35,992	27,764
	宮川人道橋(景観まちづくり刷新事業)	101,343	101,040				△ 101,040

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		728,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
738,101	598,020	598,020	105,430			
391,450	322,800	322,800	70,905			
3,000	162,000	162,000	△ 39,000			
343,651	113,220	113,220	73,525			
査定額	説明					
73,600	中切54号線 ほか					
160,000	見座橋 ほか					
363,000						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川人道橋(行神橋)を完成した。 橋りよう長寿命化修繕計画に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事(田頃家橋等)を実施した。 道路改良・道路舗装・側溝改良を実施した。 上切中切2号線 旅行村線 下三之町本町線 下切37号線 道路拡幅に必要な用地取得を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含めた総合的な視点をもって取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の費用を軽減する橋りよりの老朽化対策を計画的に推進する。 地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 橋りよう長寿命化修繕計画に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事(上組2号橋等)を実施した。 交差点改良を実施した。 名張上切線 道路拡幅に必要な用地取得、物件補償を行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含めた総合的な視点をもって取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の費用を軽減する橋りよりの老朽化対策を計画的に推進する。 地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。

担当課 予算要求 ポイント	橋りよりの長寿命化、道路の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 道路改良・道路舗装・側溝改良及び橋梁長寿命化改良について、事業課とのヒアリングにより実施箇所を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	72390 県営土木事業負担金	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
			項	2	道路橋りょう費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	3	道路新設改良費					
担当課	建設部 建設課	内線	2321							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。 	概要	・市内において、県が実施する事業への受益者負担の支出
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	100,180	100,180	70,000	85,000	82,084	△ 18,096	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他()							
一般財源	100,180	100,180	70,000	85,000	82,084	△ 18,096	
個票枝番	主な事業内容						
	県営土木事業負担金	100,180	100,180	70,000	85,000	82,084	△ 18,096

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	70,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
70,000	70,000	70,000	0
70,000	70,000	70,000	0
査定額	説明		
70,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 一般国道156号(荘川町地内)、一般国道361号(高根町地内)、急傾斜地崩壊対策事業(三福寺町地内)他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線(国府町、上宝町地内)、急傾斜地崩壊対策事業(国府町地内)他
評価等	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 一般国道156号(荘川町地内)、一般国道361号(高根町地内)、都市計画道路花里本母線(花里町地内)、急傾斜地崩壊対策事業(三福寺町地内)他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線(国府町、上宝町地内)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町)、急傾斜地崩壊対策事業(国府町地内)他
評価等	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	県営土木事業の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	74300	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・市内の業界・企業の皆様と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
	～		款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
	74310		項	4	都市計画費		根拠計画				
	担当課		建設部 建設課	内線	2328			目	2		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・高山駅周辺及び内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電柱等の倒壊による道路の寸断を防止する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の新設 ・都市計画道路 松之木千島線 ・道路の拡幅改良、歩道設置
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
都市計画道路(市道部分)の整備率	57%	57%	-
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	67.2%	71.6%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	404,648	146,764	295,648	354,348	174,180	27,416	
特定財源	国費 (街路整備事業費 5.5/10、1/2)	141,900	46,800	155,900	176,756	92,884	46,084
	県費 ()						
	その他(都市計画税、公共施設整備基金繰入金)	246,600	93,353	139,100	139,100	66,198	△ 27,155
一般財源	16,148	6,611	648	38,492	15,098	8,487	
個票枝番	主な事業内容						
	都市計画道路松之木千島線	404,000	146,336	295,000	353,700	173,822	27,486

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		233,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
417,527	402,525	402,525	106,877	
202,850	202,850	202,850	46,950	
139,100	199,115	199,115	60,015	
75,577	560	560	△ 88	
査定額	説明			
401,965	千島工区、松之木～江名子工区			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 松之木千島線 千島工区 踏切詳細設計、用地取得、物件補償 松之木～江名子工区 道路予備修正設計、取り付け道路の詳細設計、地権者調査、残土調査
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推進に努める必要がある。 ・コロナ禍の影響を考慮した事業執行が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 松之木千島線 千島工区 踏切詳細設計、用地取得、物件補償、道路改良を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推進に努める必要がある。 ・コロナ禍の影響を考慮した事業執行が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・都市計画道路の整備に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・歴史的地区環境整備街路事業推進協議会について、事業課とのヒアリングにより脱会することとし、負担金を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	74400 中部縦貫自動車道等推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・東海北陸自動車道の全線4車線化、中部縦貫自動車道の早期全線開通に向けて、引き続き関係機関に要請していきます。また、市内の生活道路整備を始めとした誰もが便利に暮らせるまちづくりに取り組みます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	4	都市計画費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画		
			目	3	中部縦貫自動車道等推進費						
担当課	建設部 建設課	内線	2372								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い暮らしや産業の活性化等を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望や提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業箇所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,090	362	1,090	1,090	315	△ 47
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,090	362	1,090	1,090	315	△ 47
個票枝番	主な事業内容						
	中部縦貫自動車道の整備促進	1,090	274	1,090	1,090	315	41
	国道41号宮峠トンネル完成イベントの開催	2,000	88				△ 88
	東海北陸自動車道4車線化事業開通イベント等の開催						

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		1,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
519	520	520	△ 570	
519	520	520	△ 570	
査定額	説明			
520				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会へ参加、協力した。 ・国道41号宮峠トンネルの完成イベントを規模縮小して実施した。 ・中部縦貫自動車道(平湯～日面間)の事業化に向けたアンケート調査の啓発活動に協力した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。 ・事業化に向けたアンケート調査の結果、非常に多い回答が得られ、市民の関心及び認知度の高さが確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整により、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会へ参加、協力した。 ・中部縦貫自動車道(平湯～日面間)の事業化に向けたアンケート調査(第2回目)の啓発活動に協力した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。 ・事業化に向けたアンケート調査の結果、非常に多い回答が得られ、市民の関心及び認知度の高さが確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整により、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中部縦貫自動車道等の事業促進に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------